

高島及び関崎周辺の海岸小動物

佐賀関半島は愛媛県の三崎半島と対峙し、この間の海は潮の流れが速く、関アジ、関サバで知られる漁場です。半島先端部は海に向かって切り立った断崖の下に岩場があり、集落の付近は海岸動物の観察に適しています。入り江は白浜、黒浜で知られる小石の礫浜です。砂浜は白木海岸にみられます。

高島は半島の東3.5kmにある周囲5.5kmの島で砂浜と岩礁があり、夏はキャンプ場となっていて採集や調査地に恵まれています。

岩場の小動物

引き潮で現れる岩場の岩陰や石の下には多くの小動物が観察され、カメノテやクロフジツボ、ケガキ、イワガキなどが集団で岩の側面や割れ目に見られます。ヨメガガサ、マツバガイ、ベッコウザラ、コウダカアオガイなどのカサガイの仲間やアマガイなども同じところに多くの個体が集まっています。



引き潮の岩礁(福水海岸)



岩の割れ目に付着したカメノテ



岩礁の側面のクロフジツボ



同じ仲間が集まったウノアシ



普通にみられる岩の側面のヨメガガサ



普通にみられるヒザラガイ



ケハダヒザラガイ



藻類が付着した岩は貝やカニなど小動物の食卓



引き潮の岩によく見られるクロイソカイメン



色鮮やかな岩の間のダイダイカイメン



体は砂の中、感触糸を伸ばしたミズヒキゴカイ



子どもたちにもなじみの深いアメフラシ

たて網の小動物

小黒地区では、たて網漁を行っています。四季折々の魚の他、冬はクロメなど採取します。この網にショウジンガニ、アカイシガニ、ベニイシガニ、モクズセオイなどのカニ類、イトマキヒトデ、ヤツデヒトデ、バフンウニ、ムラサキウニ、それにミガキボラ、ウラウズガイ、イセヨウラクなどがサザエとともにあがります。



たて網であがったベニイシガニ



サザエについて良くかかるミガキボラ



水際に普通に見られるタテジマイソギンチャク



縮むと緑が目立つミドリイソギンチャク



小石をつけたヨロイイソギンチャク



引き潮の岩間に目立つマンジュウボヤ



たて網によくかかるモズクセオイ



たて網にかかったイセヨウラク